

## 日智商工会議所&中央日本人会親睦会

渉外委員会

日本郵船 南アメリカ

齊藤光司

今年は冬の到来が遅いと言われておりましたが、6月も下旬に入りようやく朝晩の冷え込みも厳しくなり、そろそろ鍋料理が恋しくなる頃、6月26日（金）に恒例年次行事である日智商工会議所&日本人会親睦会が開催されました。

第24回を迎えるこのイベントは、毎年カマラと日本人会の方の数少ない交流の場でもあり、皆さんですき焼きに舌鼓を打ちながら、ゲームも行われて盛り上がります。

毎回趣向を凝らしながらイベントが企画されますが、今年は各ご関係先ご挨拶に続き、じゃんけん大会、紙飛行機大会、抽選会、が実施されました。

本年の参加人数は双方合わせて老若男女139人、テーブルも15にもおよび、会場の日智文化会館ホールは19時半の開始前から活気にあふれ、久しぶりの再会を喜ぶ方々の声で盛り上がります。

さて、昨年に引き続き日本語は林えりかさん、スペイン語はゴンサロ・マツモトさんの司会により、会が始まります。

日本人会会長 パブロ・サカモト氏によるご挨拶から、在チリ日本国大使館 二階尚人大使の乾杯のご挨拶へと続き、すき焼きが開始されました。



テーブルはカマラと日本人会の方々が半々になるように設定されていますが、それぞれのテーブルの鍋では早速肉を焼く音や湯気が立ち上り、おいしいにおいが広がる中で皆さん和気藹々とすき焼きを楽しまれました。



おなかも落ち着いた頃、次はゲームが始まります。

名司会、林・ゴンザレスペアの呼びかけから、最初のゲームである 100 ペソじゃんけんゲームが始まりました。

ルールは簡単、各自 100 ペソを手に、じゃんけんをして、勝った人が相手からせしめて、1回戦、2回戦と人数が絞られます。最後は会場の真ん中に集まり決戦が繰り上げられますが、今年は強運のお子さんが多く、硬貨のざっくりたくさん入った袋を手にとっこりするお子さんの顔を見ると、約束された将来を感じます。



続いては全員が三つのチームに分かれて皆さん紙飛行機を作り、それらを飛ばしてターゲットの箱にいくつ入れられるかというゲームです。このゲームでは如何に紙飛行機を上手に作れるかというだけでなく、狙う先のターゲットの箱の隣には他のチームの箱もあるので、間違っていると相手のチームの得点になるため、投げる技術も重要です。

各チーム順番に投げていきますが、シュッときれいに飛んで入って歓声が上がったり、予想しない飛び方をしてあわてたり、皆さん次第に真剣になっていきます。



最後にチームごとの箱に入った飛行機の数进行皆さんで数えます。結果、本年度は見事赤色チームが優勝しました。

最後のイベントは、入場時に皆さんに配られた抽選券による、豪華商品の抽選会です。品数は数十にもおよび、種類も多岐にわたり俄然司会者の番号呼び上げにも力が入ります。時々マイクの声は割れんばかりになります。当選者は商品を手に本当にうれしそうです。

気がつけばもう時間は 22 時を越える勢いです。

締めくくりにカマラ会頭福原様によるご挨拶があり、最後にはこちらも定番となっている「上を向いて歩こう」を全員で歌い、和やかな雰囲気の中、本会も無事終了に至りました。



かくいう私は今回初めての参加で、どのような会になるのかなと思っておりましたが、すき焼きもおいしいし、ゲームは言葉の壁など吹き飛ばして盛り上がりましたし、体もとても温まりました。